



capwap コマンド

- [capwap ap](#) (1 ページ)
- [capwap ap auth-token](#) (2 ページ)
- [capwap ap erase](#) (2 ページ)
- [capwap ap ethernet](#) (3 ページ)
- [capwap ap hostname](#) (4 ページ)
- [capwap ap ip](#) (4 ページ)
- [capwap ap lag](#) (5 ページ)
- [capwap ap mesh strict-wired-uplink](#) (5 ページ)
- [capwap ap mode](#) (6 ページ)
- [capwap ap restart](#) (7 ページ)

capwap ap

AP にプライマリ、セカンダリ、ターシャリコントローラを設定するには、**capwap ap** コマンドを使用します。

```
capwap ap {primary-base | secondary-base | tertiary-base}  
controller-name controller-ip-address
```

構文の説明

primary-base	AP のプライマリ コントローラを設定する
secondary-base	AP のセカンダリ コントローラを設定する
tertiary-base	AP のターシャリ コントローラを設定する
<i>controller-name</i>	コントローラの名前
<i>controller-ip-address</i>	コントローラの IP アドレス。

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、AP にプライマリ コントローラを設定する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap primary-base wlc-5520 209.165.200.224
```

capwap ap auth-token

認証トークンを設定するには、**capwap ap auth-token** コマンドを使用します。

capwap ap auth-token *ssc-token*

構文の説明	<i>ssc-token</i> SSC トークン。有効な範囲は 8 ～ 32 文字
-------	--

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、認証トークンを設定する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap auth-token myauthtoken
```

capwap ap erase

CAPWAP 設定を消去するには、**capwap ap erase** コマンドを使用します。

capwap ap erase {**all** | **static-ip**}

構文の説明	<p>all すべての CAPWAP 設定を消去します。</p> <p>(注) AP がブリッジモードの場合、初期設定にリセットした後の AP は同じブリッジモードのままになります。AP が FlexConnect、Local、Sniffer、またはその他のモードの場合は、初期設定にリセットした後、AP モードは Local モードに設定されます。AP でリセット ボタンを押し、正しい初期設定へのリセットを実行すると、AP は cookie 設定モードに移行します。</p>
-------	--

static-ip スタティック IP または DNS 設定を消去します。

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
---------	---------------------

コマンド履歴	<p>リリース 変更内容</p> <p>ス</p> <hr/> <p>8.1.111.0 このコマンドが導入されました。</p>
--------	--

例

次に、AP 上のすべての CAPWAP 設定を消去する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap erase all
```

capwap ap ethernet

AP イーサネットパラメータを設定するには、**capwap ap ethernet** コマンドを使用します。

capwap ap ethernet tag ethernet-vlan-id

構文の説明	<i>ethernet-vlan-id</i> イーサネット VLAN ID。有効な範囲は 0 ~ 4094 です。VLAN ID の値に 0 を入力すると、VLAN タギングは無効になります。
-------	---

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
---------	---------------------

コマンド履歴	<p>リリース 変更内容</p> <p>ス</p> <hr/> <p>8.1.111.0 このコマンドが導入されました。</p>
--------	--

例

次に、AP でイーサネット VLAN タギングを設定する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap ethernet tag 2
```

capwap ap hostname

AP のホスト名を設定するには、**capwap ap hostname** コマンドを使用します。

capwap ap hostname *ap-name*

構文の説明

ap-name AP
名

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

使用上のガイドライン

AP がすでに Cisco WLC に関連付けられている場合、新しいホスト名が Cisco WLC で反映されるには、AP と Cisco WLC の関連付けをいったん解除して再度関連付ける必要があります。

コマンド履歴

リリー 変更内容
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、AP にホスト名を設定する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap hostname cisco-wave2-ap-2802
```

capwap ap ip

CAPWAP AP にスタティック IP アドレスと DNS を設定するには、**capwap ap ip** コマンドを使用します。

capwap ap ip *static-ip-addr static-netmask ip-addr-default-gateway* [*ip-addr-dns1* | *ip-addr-dns2*]
[*domain-name*]

構文の説明

static-ip-addr AP のスタティック IP アドレス

static-netmask スタティック ネットマスク

ip-addr-default-gateway デフォルトゲートウェイの IP アドレス。

[*ip-addr-dns1* | *ip-addr-dns2*] (任意のパラメータ) DNS の IP アドレス

[*domain-name*] (任意のパラメータ) ドメイン名

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、CAPWAP AP にスタティック IP アドレスと DNS を設定する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap ip 209.165.200.225 255.255.255.224 209.165.200.227 209.165.200.226
example.org
```

capwap ap lag

CAPWAP LAG を設定するには、**capwap ap lag** コマンドを使用します。

capwap ap lag {enable | disable}

構文の説明	enable LAG を有効にする
	disable LAG を無効にする

コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 ス 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、AP で LAG を有効にする例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap lag enable
```

capwap ap mesh strict-wired-uplink

有線アップリンクが失われた場合でも、ルートアクセスポイント (RAP) を永続的な RAP として維持するように設定するには、**capwap ap mesh strict-wired-uplink** コマンドを使用します。

capwap ap mesh strict-wired-uplink {enable | disable}

構文の説明	enable Cisco AP で厳密な有線アップリンクを有効にする。
	disable Cisco AP で厳密な有線アップリンクを無効にする。
コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容
	8.9 このコマンドが導入されました。
	Cisco IOS XE Gibraltar 16.11.1

例

次に、有線アップリンクが失われた場合でも、ルートアクセスポイント（RAP）を永続的な RAP として維持する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap mesh strict-wired-uplink enable
```

capwap ap mode

AP モードを設定するには、**capwap ap mode** コマンドを使用します。

```
capwap ap mode {bridge | local}
```

構文の説明	bridge ブリッジモードを有効にする
	local ローカルモードを有効にする
コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリース 変更内容
	8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、AP をローカルモードで動作するように設定する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap mode local
```

capwap ap restart

CAPWAP プロトコルを再起動するには、**capwap ap restart** コマンドを使用します。

capwap ap restart

構文の説明	restart CAPWAP プロトコルを再起動する
コマンドモード	Privileged EXEC (#)
コマンド履歴	リリー 変更内容 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

例

次に、CAPWAP プロトコルを再起動する例を示します。

```
cisco-ap# capwap ap restart
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。